

# 令和元年度指定管理者評価シート

## 1. 管理運営の状況等

(1) 施設名	与野本町老人憩いの家
(2) 施設概要	<p>①所在地      さいたま市中央区本町東5-17-25</p> <p>②施設の設置目的 地域の高齢者に対し、教養の向上、レクリエーション等のための憩いの場を供与し、心身の健康の増進を図る。</p> <p>③施設の概要 開設年月    平成9年9月 構      造    鉄筋コンクリート造    2階建(与野本町児童センター)の一部 主な施設    和室、ラウンジ</p>
(3) 指定管理者	社会福祉法人さいたま市社会福祉事業団
(4) 指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成29年度 638千円 平成30年度 842千円 令和元年度 329千円</p>
(5) 施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 2,776人(前年度3,052人)</p> <p>◇業務実施状況 「シニア世代の生きがい、やりがいを応援し、地域の中で笑顔でつながる老人憩いの家」を基本方針として、地域の高齢者に向けて教養の向上やレクリエーション、趣味活動等の場を提供し、心身の健康の増進が図れるように支援した。また、児童センター併設の特徴を生かし、高齢者、児童、幼児と保護者など世代を超えた交流を図った。</p> <p>②維持管理業務の状況 定期的に施設設備・備品の安全点検を実施し、消防法等の規定による法定点検や必要な安全点検を計画的に行い、安全確保と効率的な施設運営に努めた。さらに災害用備蓄品をはじめとした必要備品の補充と各所の補修、修繕を計画的に行い、安定した施設運営に努めた。</p> <p>③その他の業務 児童センターde花づくり、卓球タイム、お話の会、健康講話、避難訓練、子ども・シニア交流イベント等</p>
(6) 収支状況	<p>①収入 ・指定管理料収入      329千円      (前年度    842千円)</p> <p>②支出 ・事業費                      23千円      (前年度    28千円) ・事務費                      72千円      (前年度    25千円) ・繰入金                      0円      (前年度    63千円)</p>
(7) 利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等 への対応	利用者が投書しやすい場所に「みなさまの声」(意見箱)を常設したほか、「利用者アンケート」を実施し、利用者からご意見やご要望をいただいた。ご意見等への回答については施設内に掲示し、わかりやすく周知した。また、日々の業務において、口頭での要望や意見もいただくこともあり、その都度、職員会議で検討し改善に努めた。
(8) その他	利用団体から、座布団が足りないので追加してほしいとの要望があった。法人内他施設にも相談し、余分にある施設から数枚譲ってもらうことで、迅速に対応することができた。

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
介護予防と健康づくりの促進	・利用者が楽しみながら体を動かしたり、健康づくりに対する意欲を高められるように支援した。 ・健康体操やヨガ等の各団体が安心、安全に利用できる場となるように環境を整えた。
生きがいづくりの支援	・継続して卓球、折り紙、体操、ヨガなどの趣味活動を深め、仲間づくりができるように支援した。
支えあう活力あるまちづくりの推進	・地域の高齢者の方が安心して地域で暮らせるように、中央区の保健センターに協力をいただき、「健康講話」を開催した。多くの方に興味を持っていただき、参加を得ることができた。
児童とふれあいの場、高齢者が活躍できる場の提供	・「お話の会」のボランティアグループに、月1回、児童への読み聞かせを継続して実施していただいた。また、年2回、センターの庭に児童と一緒に花の植栽を行っていただいた。 ・こども・シニア交流イベントでは、地域の児童、保護者等と世代を超えた交流ができた。

## 3. 評価

(1)指定管理者による評価

・令和元年度は、地域の高齢者の「介護予防と健康づくりの促進」の実現に向けて、地域の保健センターと連携を図り、健康づくりの食事についての講話を、試食も交えて実施した。地域の保健センターの栄養士にご協力いただいたことで、参加者は親しみをもち、気軽に相談することができていた。  
・「児童とのふれあいの場、高齢者が活躍できる場の提供」では、地域の高齢者に、ボランティアとして紙芝居の読み聞かせを毎月、児童のために継続して実施していただいている。今後も環境を整えて、高齢者がますます活躍できるように支援していきたい。  
・「センターde花づくり」「子どもシニア交流イベント」では、参加人数は少ないものの、皆さんに楽しんで参加していただいている。今後、広報活動等を見直し、さらに多くの方に参加していただけるように取り組んでいきたい。  
・「利用者懇談会」を3月に予定していたが、コロナウイルス感染拡大防止のために休館となり、開催ができなかった。次年度は、感染対策と安全に配慮等しながら開催したい。  
・利用者サービスの一層の向上のため、サービスマニュアル等を活用しながら内部研修を実施した。今後も継続して、職員の共通理解とスキルの向上を目指して取り組んでいきたい。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A~D

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進等に関する取組】

保健センターとの連携、利用者アンケート等による利用者からの意見・要望を、その都度会議に諮り改善に努めた点を評価した。

【経費の削減に関する取組】

支出削減を図った点を評価した。

【適正な管理運営の確保に対する取組】

スケールメリットを活かし、利用者からの要望に迅速に対応した点を評価した。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、適切な管理運営に努めてください。